

【開催のお知らせ】 解散後初となる本格的な走泥社展

開館60周年記念
走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代

会期／2023年7月19日（水）～9月24日（日） 会場／京都国立近代美術館

2023年7月19日（水）～9月24日（日）の期間、京都国立近代美術館にて『開館60周年記念 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代』を開催いたします。

1948年に八木一夫、叶哲夫、山田光、松井美介、鈴木治の5人で結成された走泥社は、その後、会員の入れ替わりを経ながら50年間にわたり日本の陶芸界を牽引してきました。しかし、50年という走泥社の活動期間全体を見渡した時、日本陶芸界におけるその重要性は特に前半期にあります。本展は、走泥社結成25年となる1973年までを主な対象とし、走泥社と同時期に前衛陶芸を展開した四耕会の作品なども合わせて展示することで、日本の前衛陶芸が確立していくうえで中心的な役割を果たした走泥社の活動の意味を再検証するものです。

約180点の作品および関連資料を通じて、走泥社における「前衛陶芸」の展開をご紹介します。

山田光《塔》1964年 京都国立近代美術館蔵



【1】

《開催概要》

展覧会名：開館60周年記念 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代

会 期：2023年7月19日（水）～9月24日（日）

会 場：京都国立近代美術館 [〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町26-1]

開館時間：午前10時～午後6時（金曜日は午後8時まで）※入館は閉館の30分前まで

休 館 日：月曜日（ただし、8月14日（月）、9月18日（月・祝）は開館）

観 覧 料：一般1,700円（1,500円）、大学生1,100円（900円）、高校生600円（400円）

前売特別ペアチケット2,800円（一般2枚）

※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体

※中学生以下、母子・父子家庭の世帯員の方、心身に障害のある方とその付添者1名は無料（入館の際に証明できるものをご提示ください）

※本料金でコレクション展もご覧いただけます

主 催：京都国立近代美術館、京都新聞、関西テレビ放送

協 賛：一般財団法人京都陶磁器協会

京都会場公式サイト：<https://www.ktv.jp/event/sodeisha/>

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合がございます。最新の情報は展覧会HP等をご確認ください。

広報用画像について

【1】～【4】の画像を広報用画像として提供いたします。ご希望の場合は、下記よりお申込みください。

【画像申込みフォーム】

<https://forms.gle/mYQzEvXDdTmrB5gFA>

※入力難しい場合は、広報事務局までお問い合わせください。



走泥社再考

【画像使用に関する注意】

- 本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせていただきます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ作家名、作品名、制作年、所蔵先、画像クレジットを必ずご掲載ください。
- 画像はすべて全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- WEB媒体に掲載する場合は、画像を72dpi以内に設定のうえ、コピーガードを施し、本展終了後は画像の削除をお願いいたします。
- 本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても、再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。展覧会基本情報と作品画像使用の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださいますようお願いいたします。掲載紙誌・同録DVD等は広報事務局に1部ご贈願います。WEB媒体の場合は掲載URLをお知らせください。

【2】

鈴木治《汗馬》1959年
京都国立近代美術館蔵

【3】

熊倉順吉《風人'67'》1967年
京都国立近代美術館蔵

【4】

八木一夫《ザムザ氏の散歩》1954年
京都国立近代美術館蔵

【報道に関するお問い合わせ】

「開館60周年記念 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」広報事務局（ネネラコ内）
E-MAIL / sodeisha@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル